

「横浜みどりアップ計画」や「横浜みどり税」の広報に関する調査 報告書

1 目的

「横浜みどりアップ計画」及び「横浜みどり税」を市民の皆様にご存知いただくための広報の方法や、市民の皆様の緑の取組への関心を検証し、今後の取組及びその広報を検討する基礎資料とすることを目的に本調査を実施しました。

2 調査の対象

市民5,000人
(住民基本台帳から無作為に抽出した満20歳以上の市民)

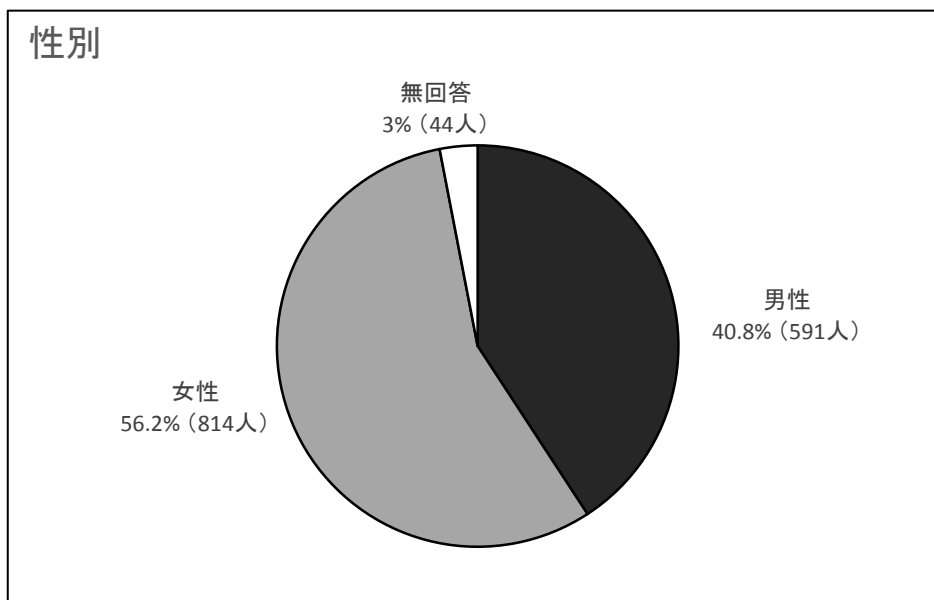
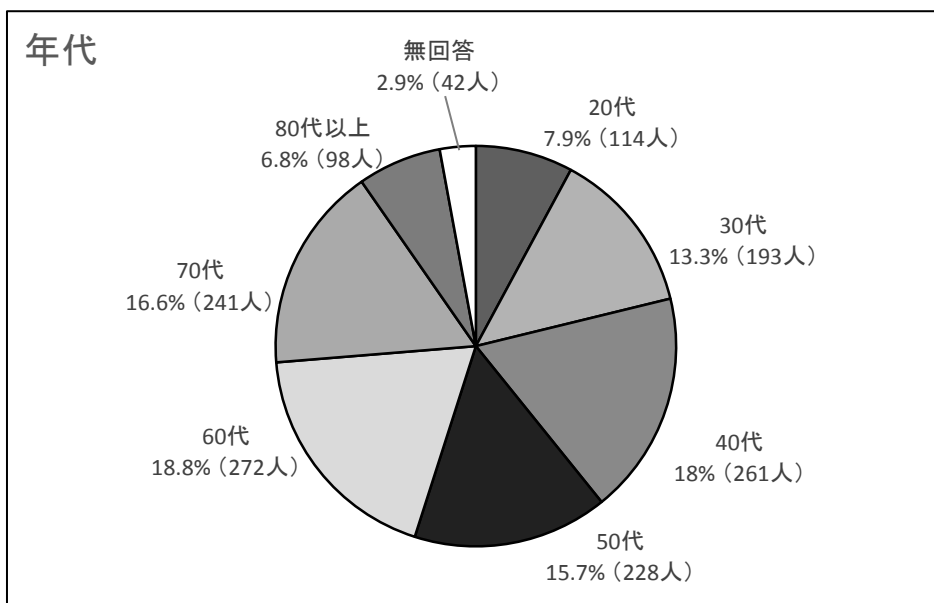
3 実施期間

(1) 発送日：平成26年12月1日(月)
(2) 回答期限：平成26年12月19日(金)

4 回収数

1,449票(回収率29.0%)

5 回答者の属性



<調査結果 概要>

ポイント

1

知っている割合

横浜みどりアップ計画を知っている方は、「計画や取組内容を知っている」20.8%、「名称を見たことや聞いたことがある」21.7%、合わせて **42.5%**。
横浜みどり税を知っている方は、「税やその目的、税額を知っている」39.6%、「名称を見たことや聞いたことがある」8.3%、合わせて **47.9%**。

計画は合わせて42.5%、みどり税は合わせて47.9%の方が知っていると回答しており、両方を知っている方は36.9%、両方を知らない方は46.0%でした。また、計画、みどり税の両方、もしくは片方を知っている方の割合は53.5%でした。年代別では、基本的に年代が上がるにつれて知っている割合が高くなる傾向が見られます。計画、みどり税ともに70代では6割強が知っている一方、20代では2割程度にとどまっています。

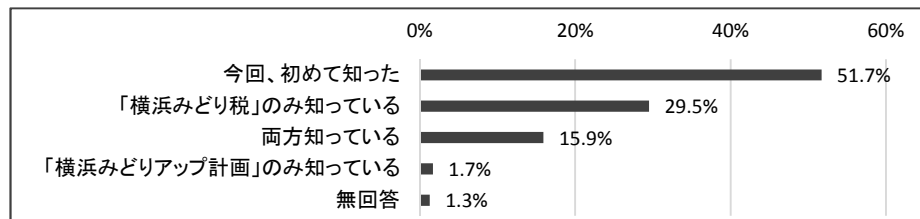
(p3、8、10参照)

*参考

平成24年度に実施した「横浜の緑に関する市民意識調査」では、下記のような結果でした。

【質問】

横浜市では、現在「横浜みどりアップ計画(新規・拡充施策)」に取り組んでおり、その財源の一部として「横浜みどり税」をご負担していただいておりますが、このことについて知っていましたか。



詳細は、下記Webページをご参照ください。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/data/midori-chousa/>

ポイント

2

知った経緯

「広報よこはま等の広報誌」で知った方が過半数(53.3%)

横浜みどりアップ計画や横浜みどり税を知った人の53.3%が「広報よこはま等の広報誌」で知ったと答えています。2番目に高いのは「市からの税金の通知等」で35.4%です。年代別では、30代は広報誌よりも「市からの税金の通知等」で知った方の割合が5割と高く、逆に70代は6割以上の方が「広報よこはま等の広報誌」で知ったと答えています。また、20代は「広報よこはま等の広報誌」、「市からの税金の通知等」とも比較的低い割合にとどまっており、「20代」で知っている割合が低い要因は、これら「広報誌」「税金通知」になじみがない、興味が薄い等の理由が考えられます。

(p4、9参照)

ポイント

3

広報媒体

市の情報を得る手段として、「広報よこはま等の広報誌」(72.8%)、「自治会・町内会の回覧」(41.3%)を見ている方が多い。

普段市の情報を得る手段として72.8%の人が「広報よこはま等の広報誌」と答えています。2番目に高いのは「自治会・町内会の回覧」で41.3%です。年代別では、30代以降は「広報よこはま等の広報誌」、「自治会・町内会の回覧」で市の情報を得る割合が高いのに対し、20代は交通広告やテレビ・ラジオ、ホームページ等で市の情報を得る傾向があることがわかりました。

また効果的だと思われる広報の仕方では、1位「イベント開催」、2位「交通広告」の順でした。

(p4、9、13参照)

<報告書の見方>

回答形式：設問1, 2は単一回答、設問3～9は複数回答、設問10は自由記述回答です。

母数：全体結果の母数は、総回収数(1449人)です。
 ※属性別結果の母数は、それぞれの属性の回収数です。
 (例：20代の母数は20代の回収数114人)
 ※設問3は「設問1.2両方とも知らなかったと答えた層」は回答することができないため、「設問1.2両方とも知らなかったと答えた人数」を母数から除外しています。

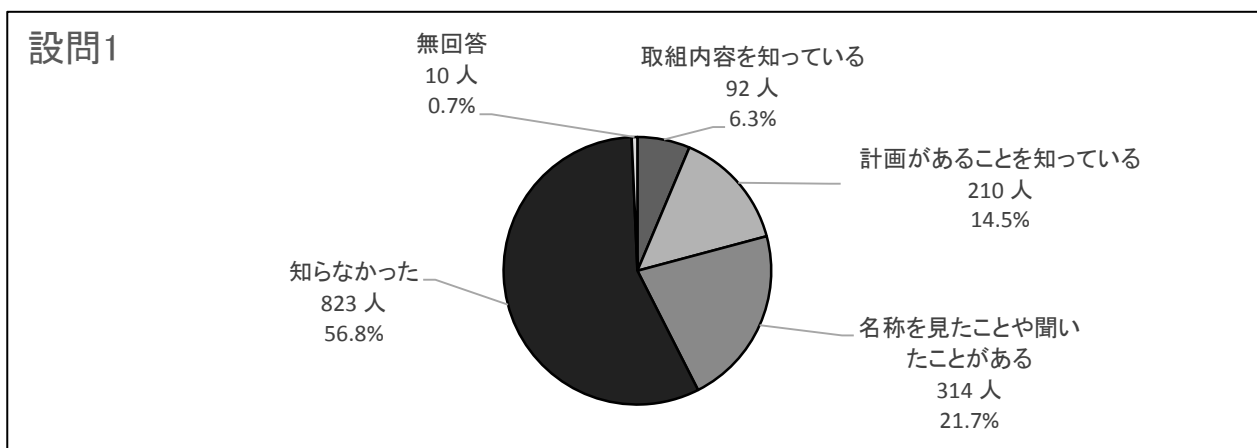
回答の割合：単一回答でも複数回答でも、母数は「回答の数」ではなく「回答した人数」です。
 そのため、複数回答の場合、割合の合計は100%を超える場合があります。

<設問ごとの単純集計>

設問1 あなたは、「横浜みどりアップ計画」をご存知ですか？

横浜みどりアップ計画を知っている方は、「計画や取組内容を知っている」20.8%、「名称を見たことや聞いたことがある」21.7%、合わせて **42.5%**。

計画を知っている層では、「名称を見たことや聞いたことがある」と答えた割合が21.7%と最も多い。一方知らない割合は、56.8%。

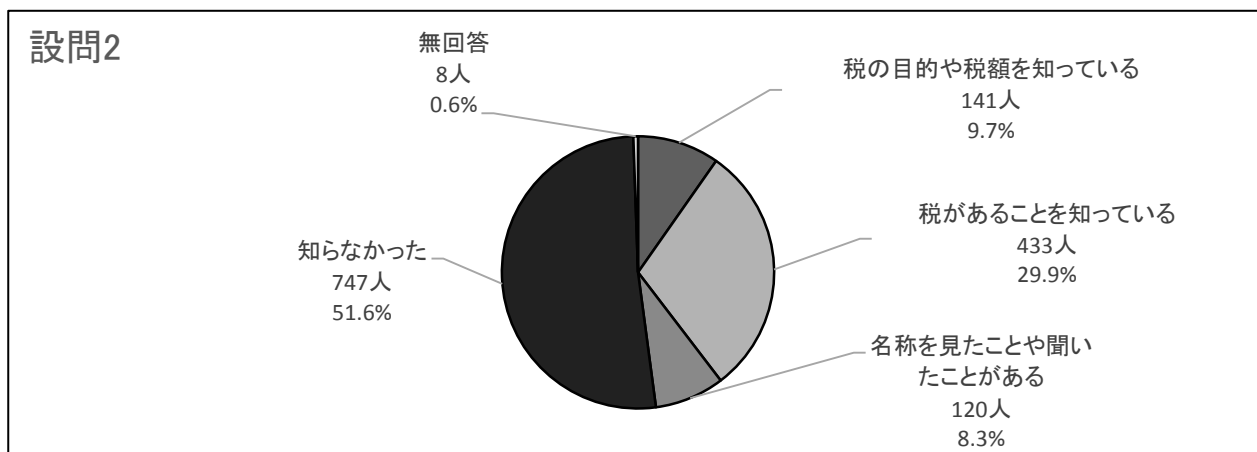


母数：総回収数(1449人)

設問2 あなたは、「横浜みどり税」をご存知ですか？

横浜みどり税を知っている方は、「税やその目的、税額を知っている」39.6%、「名称を見たことや聞いたことがある」8.3%、合わせて **47.9%**。

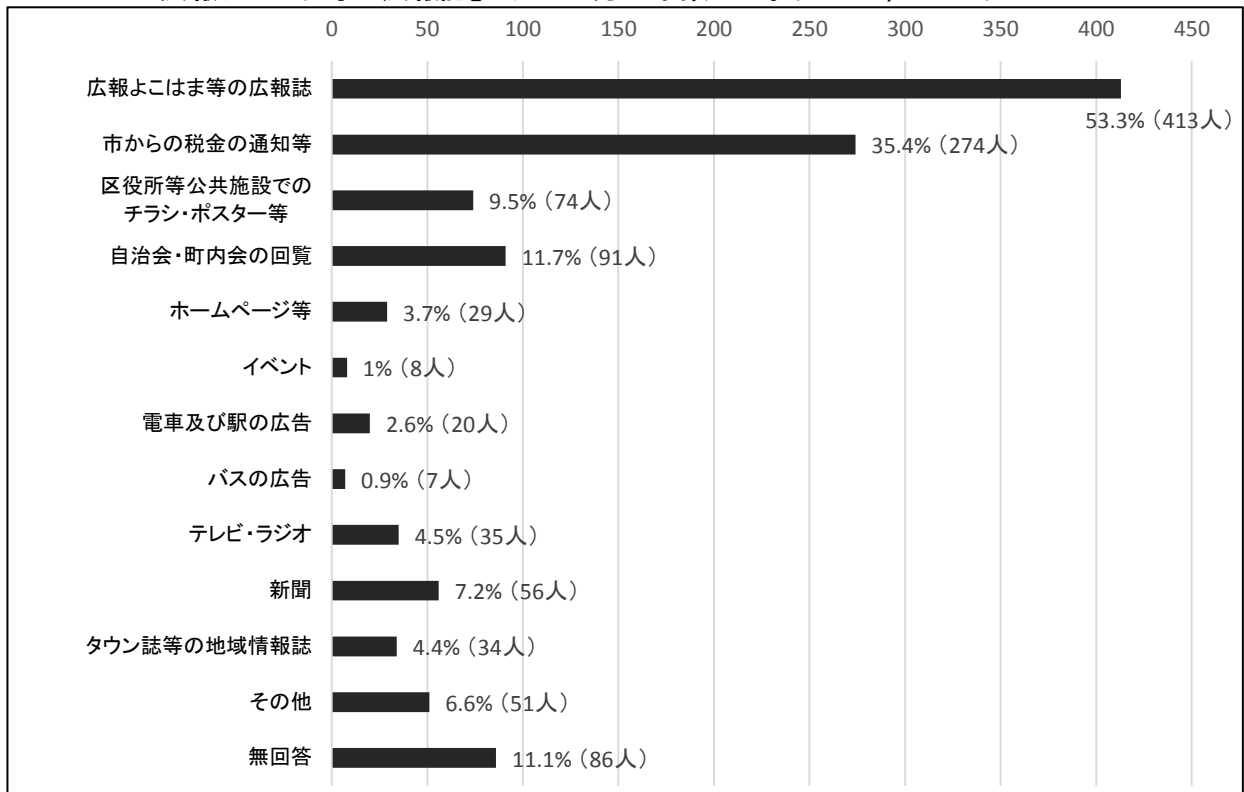
横浜みどり税を知っている層では、「税があることを知っている」と答えた割合が29.9%と最も多い。一方知らない割合は、51.6%。



母数：総回収数(1449人)

設問3 「横浜みどりアップ計画」や「横浜みどり税」について何で知りましたか？【複数回答可】

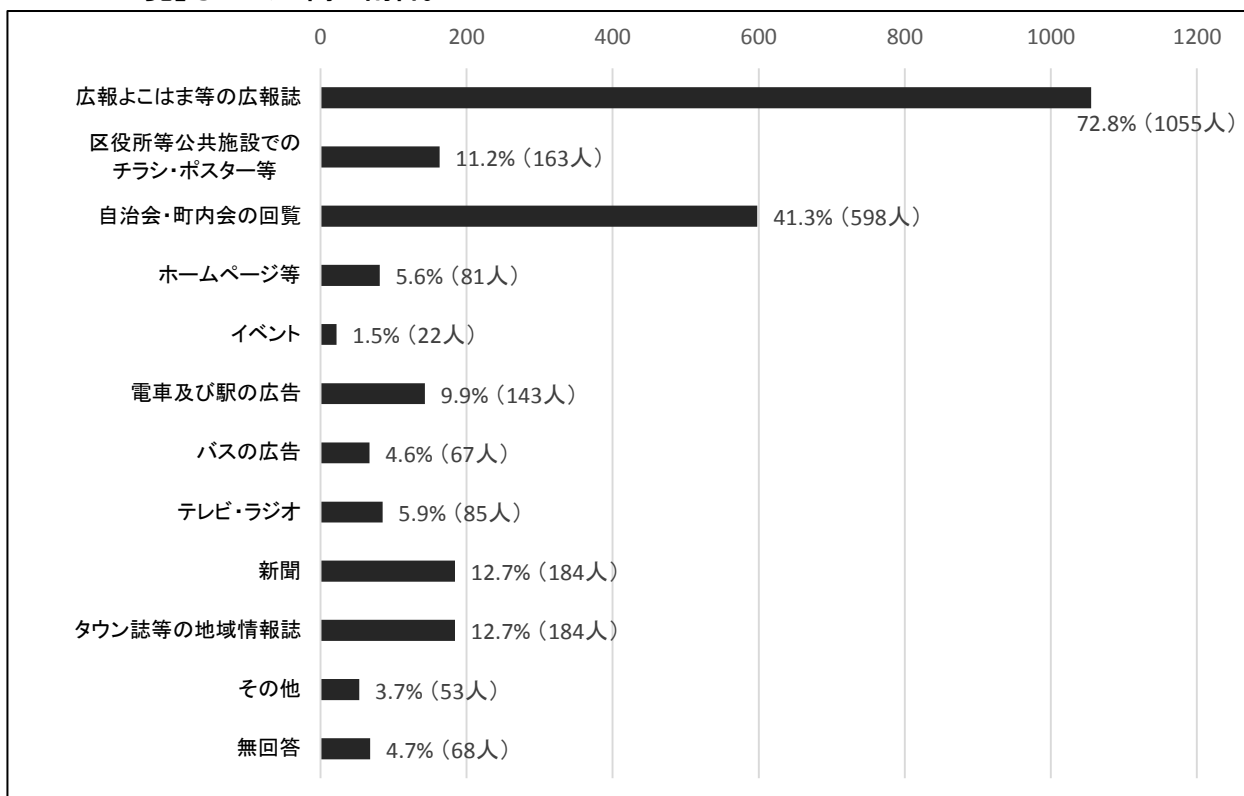
「広報よこはま等の広報誌」で知った方が半数以上。(53.3%, 413人)



母数: 設問1,2の両方もしくは片方で知っていると感じた人数(775人)

設問4 普段どのようにして横浜市からのお知らせ等を知りますか？【複数回答可】

「広報よこはま等の広報誌」で市の情報得る方が72.8%と圧倒的。「自治会・町内会の回覧」も41.3%と高い割合。

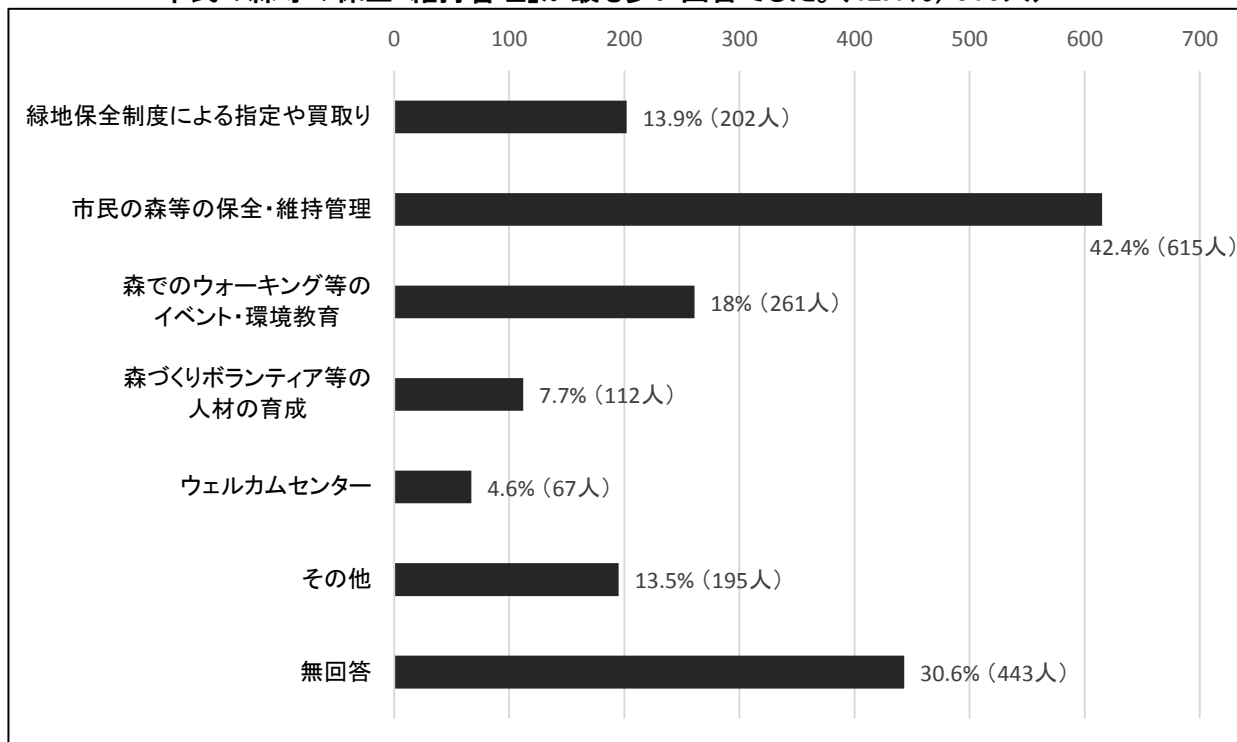


母数: 総回収数(1449人)

設問5

市では、「横浜みどりアップ計画」の3つの柱の1つとして、「市民とともに次世代につなぐ森を育む」ため下記の取組を進めています。あなたが知っている取組のすべてについて、数字に○を付けて下さい。【複数回答可】

「市民の森等の保全・維持管理」が最も多い回答でした。(42.4%, 615人)

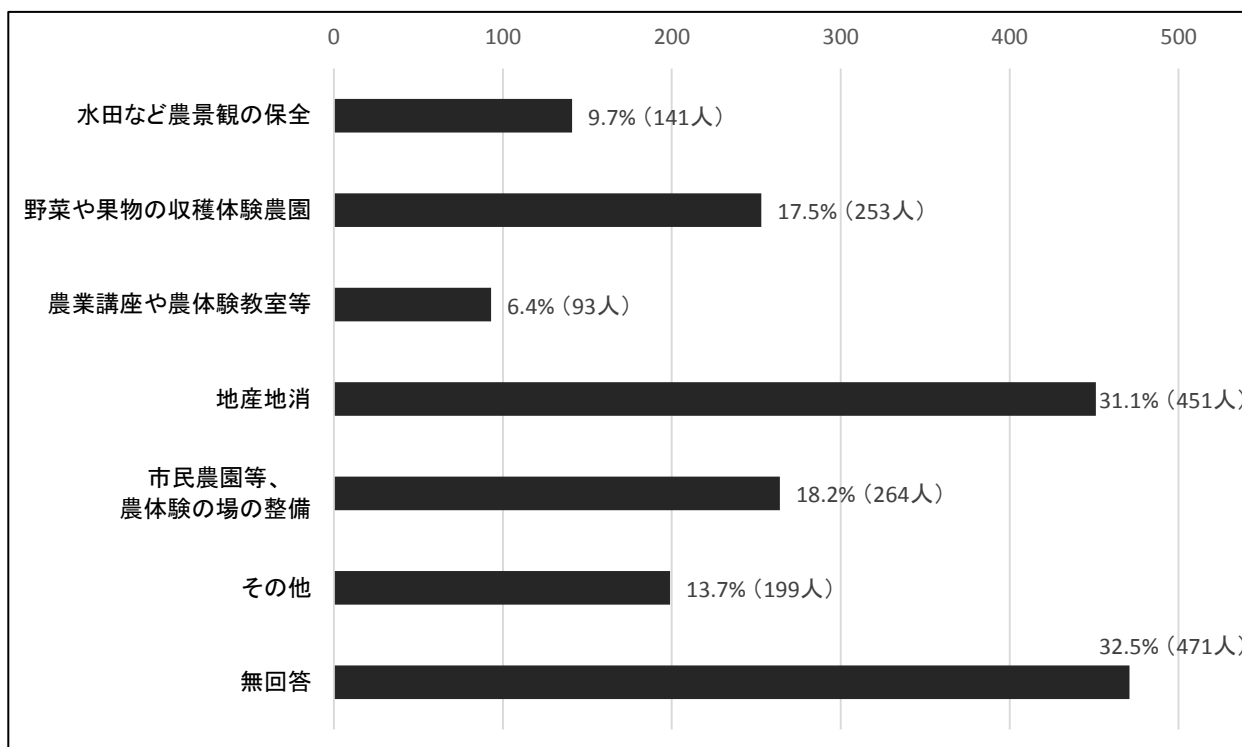


母数: 総回収数(1449人)

設問6

市では、「横浜みどりアップ計画」の3つの柱の1つとして、「市民が身近に農を感じる場をつくる」ため下記の取組を進めています。あなたが知っている取組のすべてについて、数字に○を付けて下さい。【複数回答可】

「地産地消」が最も多い回答でした。(31.1%, 451人)(無回答を除く)

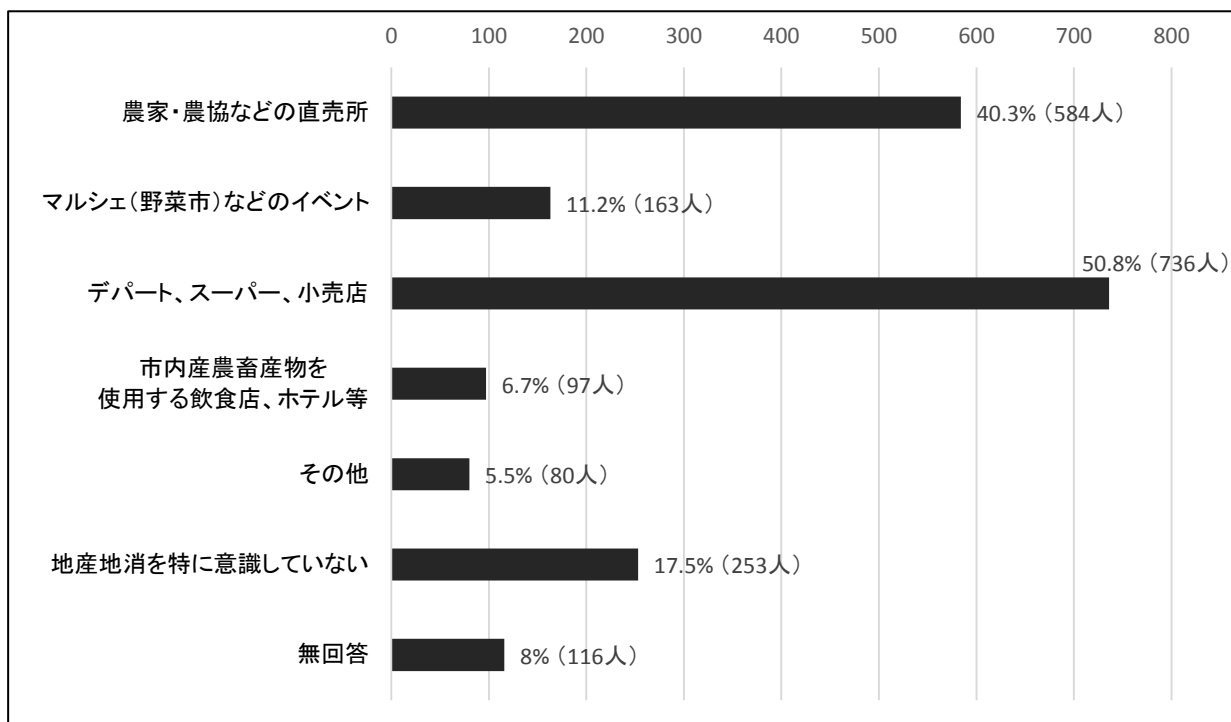


母数: 総回収数(1449人)

設問7

「市民が身近に農を感じる場をつくる」取組の中で、地産地消を推進しています。過去1年間で横浜産の農畜産物(加工品を含む)をどこで購入または味わいましたか?【複数回答可】

「デパート、スーパー、小売店」と「農家・農協などの直売所」が多い回答でした。

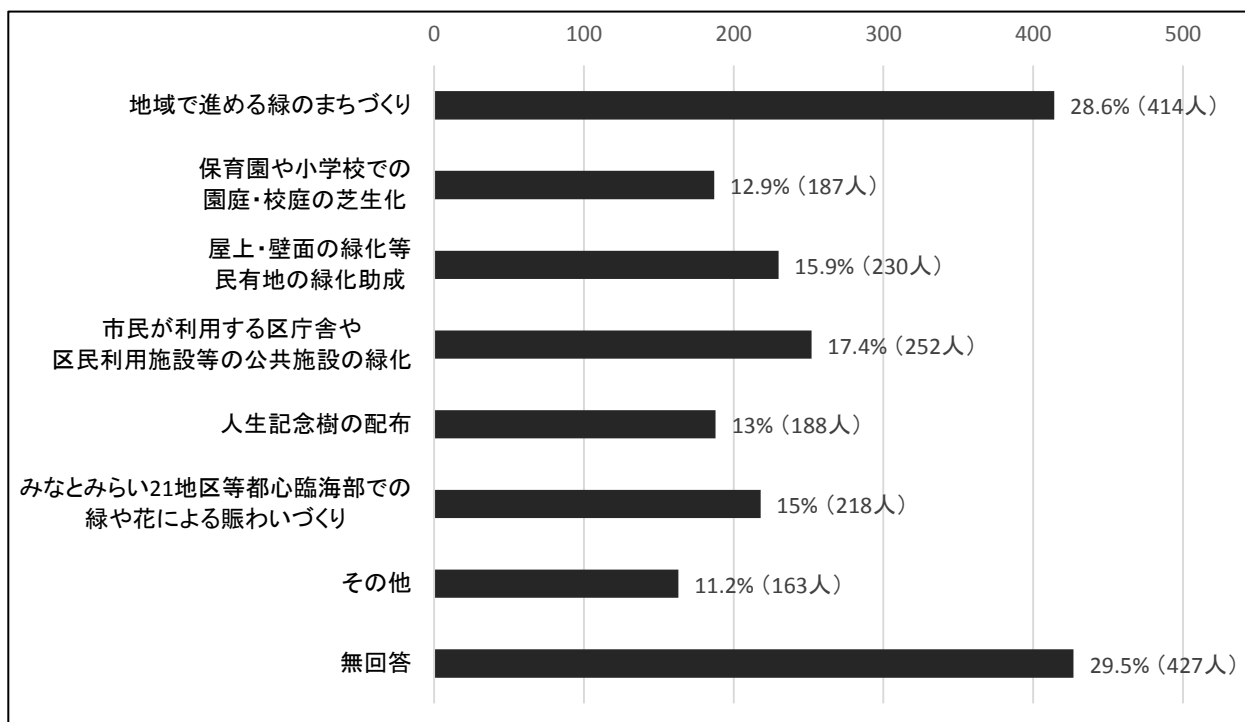


母数: 総回収数(1449人)

設問8

市では、「横浜みどりアップ計画」の3つの柱の1つとして、「市民が実感できる緑をつくる」ため下記の取組を進めています。あなたが知っている取組のすべてについて、数字に○を付けて下さい。【複数回答可】

「地域で進める緑のまちづくり」が最も多い回答でした。(28.6%, 414人)(無回答を除く)

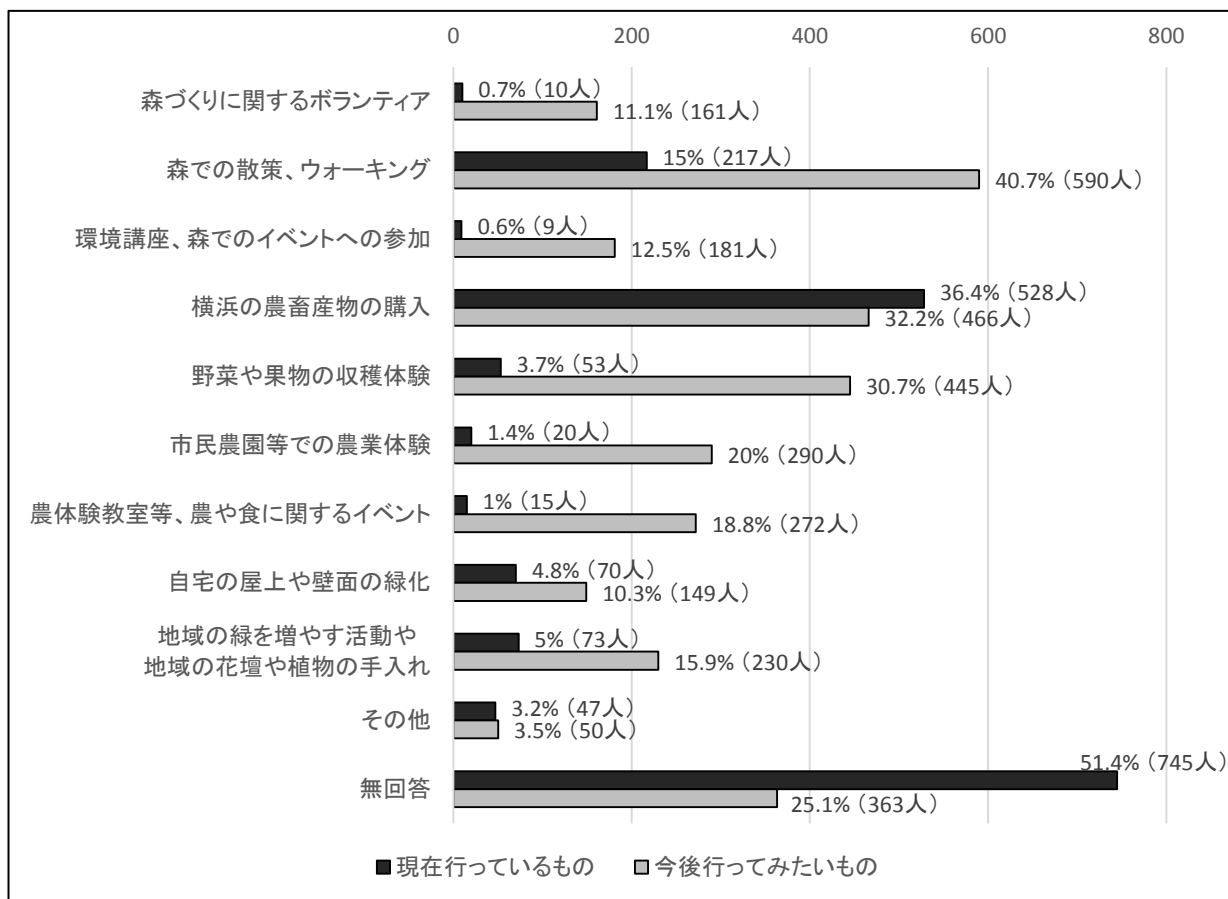


母数: 総回収数(1449人)

設問9

緑に関する取組について、現在行っているもの、もしくは今後行ってみたいものがありますか？【複数回答可】

現在行っていることは、「横浜の農畜産物の購入」が最も多い回答でした。(36.4%, 528人)
 今後行ってみたいことは、「森での散策、ウォーキング」が最も多い回答でした。(40.7%, 590人)
 (無回答を除く)



母数: 総回収数(1449人)

<クロス集計>

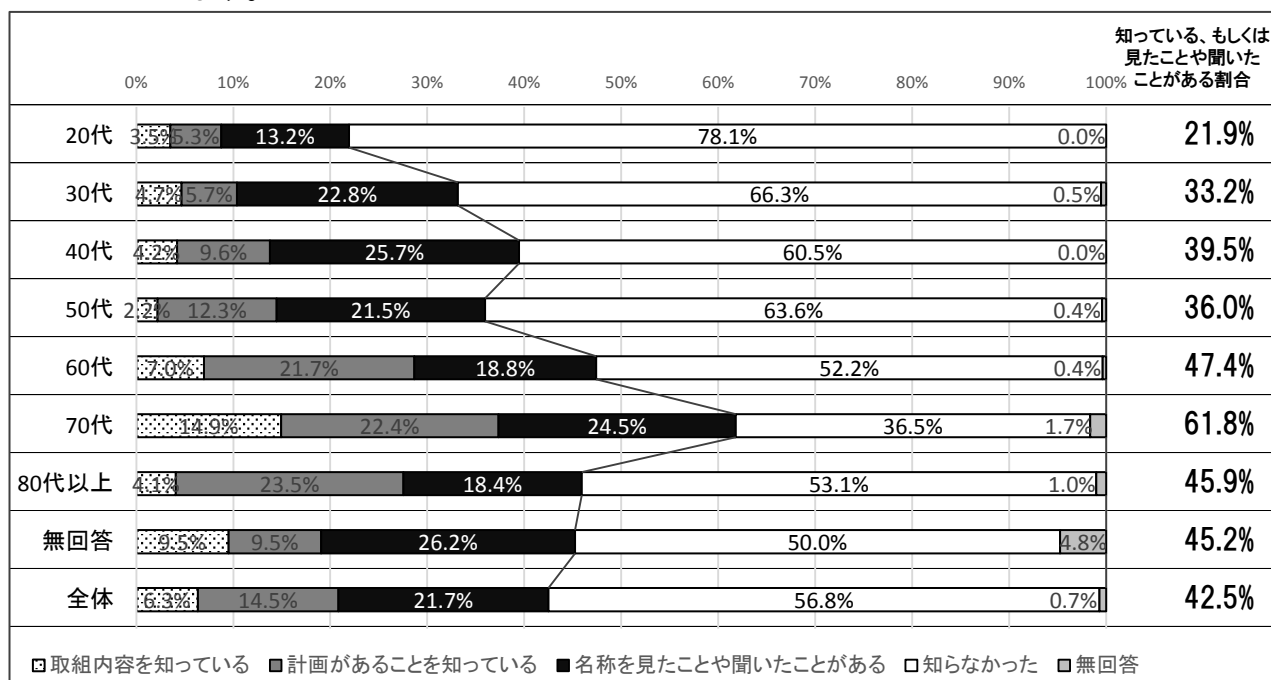
設問1

あなたは、「横浜みどりアップ計画」をご存知ですか？

×

年代

70代までは、基本的に年代が上がるにつれて知っている割合が高くなる傾向が見られます。知っている割合が最も低いのは20代で、20代114人中89人(78.1%)の方が知らないと答えています。



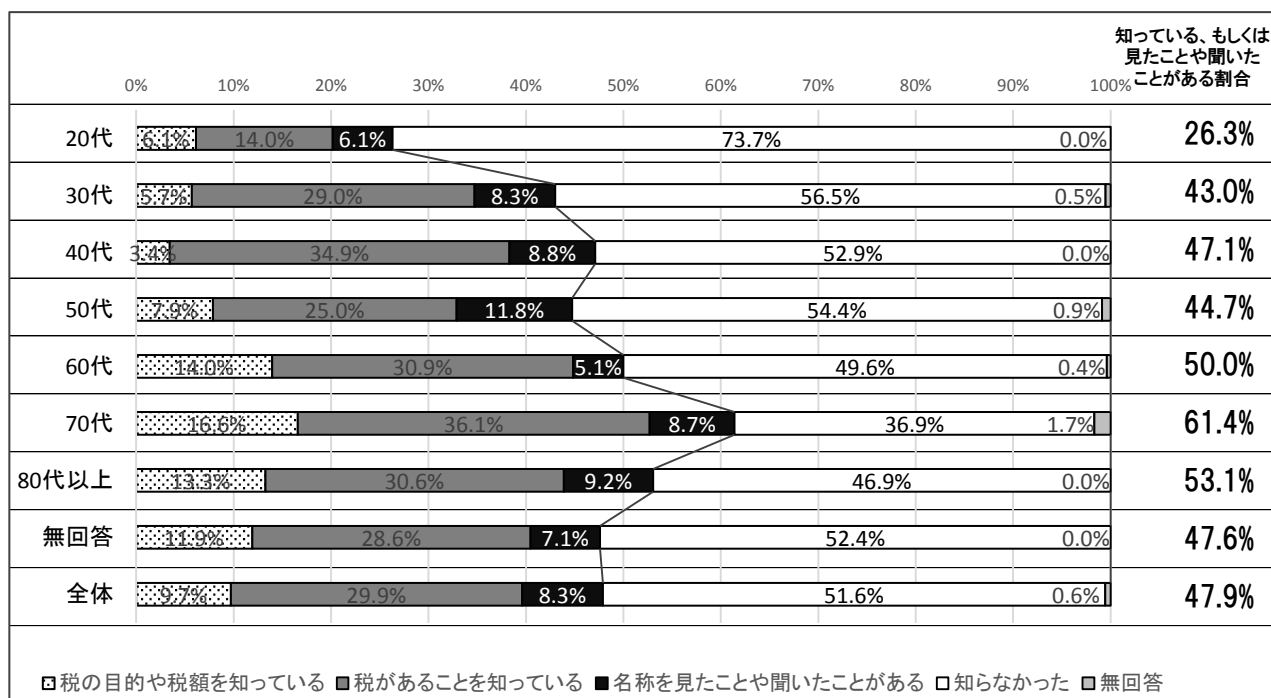
設問2

あなたは、「横浜みどり税」をご存知ですか？

×

年代

30代以降では概ね40~50%程度知られているのに対し、若い世代の知っている割合が低い傾向があります。20代114人中84人(73.7%)の方が知らないと答えています。



設問3

「横浜みどりアップ計画」や「横浜みどり税」について何で知りましたか？【複数回答可】

×

年代

最も多い回答の「広報よこはま等の広報誌」については、基本的に年代が高いほど割合が増える傾向があり、一番割合が多い年代は70代(67.1%)、一番割合が少ない年代は20代(28.2%)でした。

		設問3												
年代	母数（設問1・2の両方ともしくは片方で知っている人数）	広報よこはま等の広報誌	市からの税金の通知等	区役所等公共施設でのチラシ・ポスター等	自治会・町内会の回覧	ホームページ等	イベント	電車及び駅の広告	バスの広告	テレビ・ラジオ	新聞	タウン誌等の地域情報誌	その他	無回答
		20代	39	28.2%	25.6%	10.3%	7.7%	10.3%	0.0%	12.8%	5.1%	5.1%	5.1%	5.1%
30代	96	29.2%	50.0%	4.2%	7.3%	7.3%	3.1%	3.1%	1.0%	5.2%	1.0%	2.1%	7.3%	16.7%
40代	137	51.1%	32.8%	7.3%	8.8%	5.1%	0.0%	3.6%	1.5%	3.6%	3.6%	2.9%	9.5%	13.9%
50代	109	55.0%	30.3%	9.2%	13.8%	3.7%	1.8%	0.9%	0.9%	6.4%	10.1%	3.7%	9.2%	7.3%
60代	149	59.7%	43.0%	10.7%	13.4%	0.7%	0.7%	2.0%	0.7%	2.7%	6.7%	6.0%	1.3%	7.4%
70代	164	67.1%	26.8%	14.0%	16.5%	3.0%	1.2%	1.8%	0.0%	4.9%	13.4%	6.7%	3.7%	11.0%
80代以上	57	61.4%	31.6%	5.3%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.5%	5.3%	1.8%	5.3%	14.0%
無回答	24	41.7%	50.0%	16.7%	16.7%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	8.3%	4.2%	8.3%	8.3%
全体	775	53.3%	35.4%	9.5%	11.7%	3.7%	1.0%	2.6%	0.9%	4.5%	7.2%	4.4%	6.6%	11.1%

設問4

普段どのようにして横浜市からのお知らせ等を知りますか？【複数回答可】

×

年代

「広報よこはま等の広報誌」と回答した方が各年代とも最も多く、特に30代より上の年代では、設問3と同じく、やはり年代が高いほど割合も多くなる傾向があります。20代は、「広報よこはま等の広報誌」と回答した方の割合が34.2%と他の年代に比べて低いものに対して、「電車及び駅の広告」(33.3%)、「バスの広告」(14.9%)の割合が高く、交通広告で情報を得る傾向があるといえます。

		設問4												
年代	母数（それぞれの属性の回答者数）	広報よこはま等の広報誌	区役所等公共施設でのチラシ・ポスター等	自治会・町内会の回覧	ホームページ等	イベント	電車及び駅の広告	バスの広告	テレビ・ラジオ	新聞	タウン誌等の地域情報誌	その他	無回答	
		20代	114	34.2%	11.4%	18.4%	12.3%	2.6%	33.3%	14.9%	11.4%	9.6%	7.0%	7.9%
30代	193	66.8%	13.0%	25.4%	10.9%	2.1%	13.0%	5.2%	6.7%	4.7%	12.4%	7.8%	4.7%	
40代	261	73.6%	8.4%	40.6%	7.7%	1.5%	11.1%	3.8%	5.7%	9.2%	11.9%	4.6%	3.4%	
50代	228	76.8%	10.5%	44.7%	4.8%	1.8%	10.1%	5.3%	5.3%	14.5%	13.2%	3.1%	2.6%	
60代	272	82.0%	11.0%	51.8%	2.9%	0.4%	5.1%	2.6%	6.6%	12.9%	13.6%	1.5%	4.8%	
70代	241	80.9%	13.7%	49.4%	2.5%	1.7%	4.1%	2.1%	4.1%	20.7%	14.9%	0.8%	7.9%	
80代以上	98	74.5%	8.2%	49.0%	1.0%	1.0%	0.0%	3.1%	0.0%	13.3%	15.3%	1.0%	5.1%	
無回答	42	69.0%	19.0%	28.6%	0.0%	2.4%	9.5%	7.1%	9.5%	21.4%	7.1%	7.1%	4.8%	
全体	1449	72.8%	11.2%	41.3%	5.6%	1.5%	9.9%	4.6%	5.9%	12.7%	12.7%	3.7%	4.7%	

設問1 あなたは、「横浜みどりアップ計画」をご存知ですか？

×

設問2 あなたは、「横浜みどり税」をご存知ですか？

「横浜みどりアップ計画」と「横浜みどり税」の両方、もしくは片方を知っている方の割合は53.5%でした。

		設問2				
		知税の目的や税額を知っている	知税があることを知っている	名称を見たことがある	知らなかった	無回答
設問1	取組内容を知っている	4.2%	1.7%	0.1%	0.3%	0.0%
	計画があることを知っている	3.0%	9.6%	0.8%	1.2%	0.0%
	名称を見たことや聞いたことがある	1.7%	10.8%	5.2%	4.0%	0.1%
	知らなかった	0.9%	7.7%	2.1%	46.0%	0.1%
	無回答	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.4%

※ 小数第2位を四捨五入しているため、該当部分の割合の合計は53.5%になりません。

母数：総回収数(1449人)

設問1 あなたは、「横浜みどりアップ計画」をご存知ですか？

×

設問3 「横浜みどりアップ計画」や「横浜みどり税」について何で知りましたか？【複数回答可】

多くの方が「広報よこはま等の広報誌」を通じて「横浜みどりアップ計画」を知ったと回答しています。また、「横浜みどりアップ計画は知らないが、横浜みどり税は知っている」という層は、過半数(51.8%)が「市からの税金の通知等」を通じて横浜みどり税を知ったと回答しています。

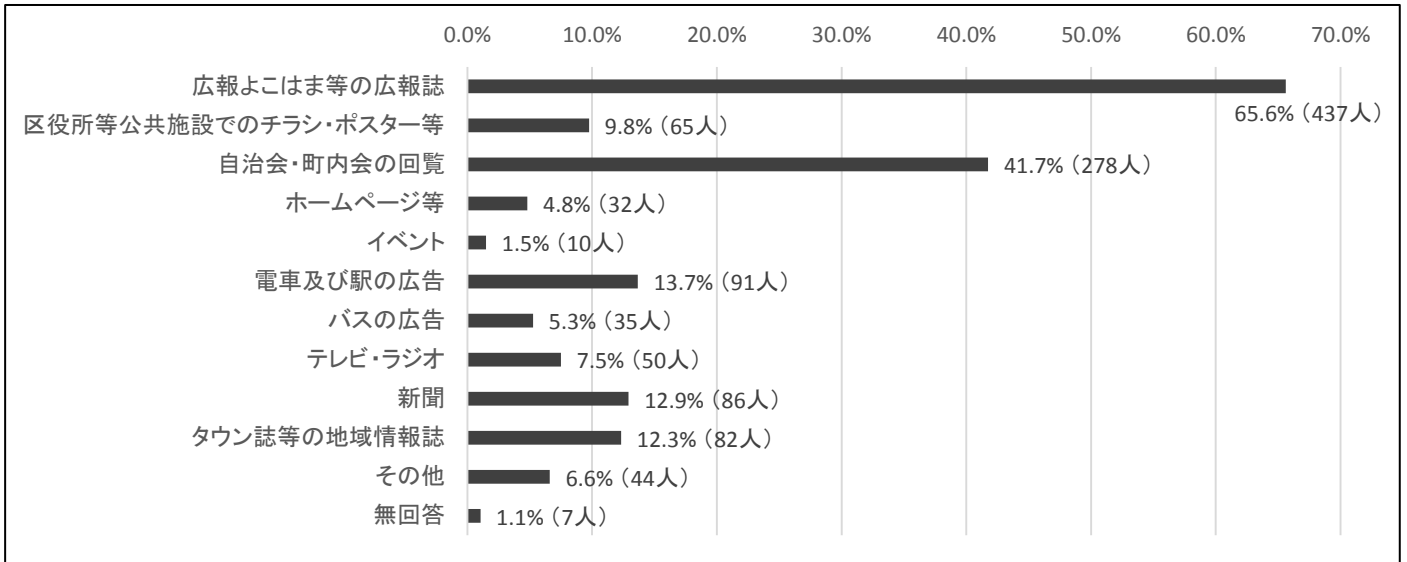
		設問3													母数
		誌広報よこはま等の広報	市からの税金の通知等	区役所等公共施設でのチラシ・ポスター等	自治会・町内会の回覧	ホームページ等	イベント	電車及び駅の広告	バスの広告	テレビ・ラジオ	新聞	誌タウン誌等の地域情報	その他	無回答	
設問1	取組内容を知っている	69.8%	47.7%	12.8%	23.3%	10.5%	2.3%	2.3%	0.0%	3.5%	14.0%	2.3%	8.1%	-	86
	計画があることを知っている	73.7%	32.3%	13.4%	16.7%	2.2%	0.5%	2.7%	1.1%	7.5%	8.6%	7.0%	6.5%	-	186
	名称を見たことや聞いたことがある	58.6%	36.3%	12.5%	11.7%	4.0%	1.8%	3.7%	1.5%	5.1%	6.2%	6.2%	7.0%	-	273
	知らなかった(計画は知らないが、みどり税は知っている)	39.0%	51.8%	2.8%	5.0%	3.5%	0.0%	2.1%	0.7%	2.1%	7.1%	1.4%	9.2%	-	141
	無回答	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	-	3

設問4 普段どのようにして横浜市からのお知らせ等を知りますか？【複数回答可】

×

設問1	あなたは、「横浜みどりアップ計画」をご存知ですか？	両方「知らない」と答えた層
設問2	あなたは、「横浜みどり税」をご存知ですか？	

計画、税の両方を知らないと回答した層も特に「広報よこはま等の広報紙」(65.6%)、「自治会・町内会の回覧」(41.7%)を通して市の情報を得ていることが分かりました。



母数: 設問1、2で両方「知らない」と答えた人の数(666人)

設問9 緑に関する取組について、今後行ってみたいものはありますか？【複数回答可】

×

年代

各年代で最も多い回答は「森での散策、ウォーキング」でしたが、30代のみ「野菜や果物の収穫体験」(51.8%)「横浜の農畜産物の購入」(42.5%)と回答した割合が高くなりました。

		設問9											
年代	母数(それぞれの属性の回答者数)	森づくりに関するポラン	森での散策、ウォーキング	環境講座、森でのイベントへの参加	横浜の農畜産物の購入	野菜や果物の収穫体験	市民農園等での農業体験	農体験教室等、農や食に関するイベント	自宅の屋上や壁面の緑化	地域の花壇や植物の増やす活動	地域の緑を増やす活動や手入れや地	その他	無回答
20代	114	13.2%	41.2%	10.5%	28.1%	31.6%	17.5%	22.8%	18.4%	17.5%	4.4%	28.9%	
30代	193	10.9%	38.3%	9.3%	42.5%	51.8%	30.6%	25.4%	16.1%	14.0%	5.2%	16.6%	
40代	261	10.7%	42.5%	15.3%	37.5%	42.1%	23.4%	25.7%	12.6%	18.0%	1.9%	14.9%	
50代	228	13.2%	50.9%	15.4%	37.7%	31.6%	23.2%	19.3%	11.4%	12.7%	2.2%	14.9%	
60代	272	13.6%	48.9%	14.0%	29.8%	24.3%	18.8%	14.7%	5.9%	18.4%	2.2%	20.6%	
70代	241	8.3%	31.5%	10.4%	24.1%	17.0%	12.0%	12.0%	5.8%	16.2%	4.1%	41.5%	
80代以上	98	2.0%	20.4%	6.1%	18.4%	6.1%	5.1%	4.1%	4.1%	10.2%	7.1%	57.1%	
無回答	42	19.0%	31.0%	16.7%	26.2%	33.3%	28.6%	31.0%	9.5%	19.0%	4.8%	31.0%	
全体	1449	11.1%	40.7%	12.5%	32.2%	30.7%	20.0%	18.8%	10.3%	15.9%	3.5%	25.1%	

設問1で「知らない」と答えた層 × 設問5, 6, 8

「横浜みどりアップ計画」を知らない層にも特に知られている取組は、「市民の森等の保全・維持管理」(26.1%)と「地産地消」(22.5%)の2つでした。

設問1 あなたは、「横浜みどりアップ計画」をご存知ですか？
「知らない」と答えた層

×

設問5 市では、「横浜みどりアップ計画」の3つの柱の1つとして、「市民とともに次世代につなぐ森を育む」ため下記の取組を進めています。あなたが知っている取組のすべてについて、数字に○を付けて下さい。【複数回答可】

緑地保全制度による指定や買取り	5.3%
市民の森等の保全・維持管理	26.1%
森でのウォーキング等のイベント・環境教育	11.5%
森づくりボランティア等の人材の育成	3.8%
ウェルカムセンター	3.9%
その他	19.8%
無回答	42.0%

設問1 あなたは、「横浜みどりアップ計画」をご存知ですか？
「知らない」と答えた層

×

設問6 市では、「横浜みどりアップ計画」の3つの柱の1つとして、「市民が身近に農を感じる場をつくる」ため下記の取組を進めています。あなたが知っている取組のすべてについて、数字に○を付けて下さい。【複数回答可】

水田など農景観の保全	4.6%
野菜や果物の収穫体験農園	11.7%
農業講座や農体験教室等	3.9%
地産地消	22.5%
市民農園等、農体験の場の整備	13.1%
その他	18.3%
無回答	41.2%

設問1 あなたは、「横浜みどりアップ計画」をご存知ですか？
「知らない」と答えた層

×

設問8 市では、「横浜みどりアップ計画」の3つの柱の1つとして、「市民が実感できる緑をつくる」ため下記の取組を進めています。あなたが知っている取組のすべてについて、数字に○を付けて下さい。【複数回答可】

地域で進める緑のまちづくり	17.3%
保育園や小学校での園庭・校庭の芝生化	10.1%
屋上・壁面の緑化等民有地の緑化助成	11.9%
市民が利用する区庁舎や区民利用施設等の公共施設の緑化	9.8%
人生記念樹の配布	7.2%
みなとみらい21地区等都心臨海部での緑や花による賑わいづくり	11.5%
その他	15.4%
無回答	39.0%

母数(設問1での「知らない」と答えた回答者数): 823人

設問10

「横浜みどりアップ計画」や事業について、市民の皆さんにさらに知っていただくために、今後どのような広報の仕方が効果的だと思いますか？

大項目	分類項目	意見数	割合	母数
広報手段に関する提案	イベント開催	120	15.5%	774
	交通広告	112	14.5%	
	広報よこはま	62	8.0%	
	TV・ラジオ	56	7.2%	
	教育	55	7.1%	
	町内会を通じた周知	54	7.0%	
	HP・ソーシャルメディア	51	6.6%	
	チラシ・各宅への郵便	37	4.8%	
	ポスター・看板等	30	3.9%	
	種・苗木の配布	29	3.7%	
	スーパーなど商業施設での広告	24	3.1%	
	新聞・タウン誌	23	3.0%	
	事業箇所表示	17	2.2%	
	タレント・ゆるキャラ	9	1.2%	
	その他の広報に関する提案	92	11.9%	
計画・税に関する提案	横浜みどりアップ計画について	92	11.9%	
	横浜みどり税について	36	4.7%	
その他	その他の要望、意見	21	2.7%	
	無関係	21	2.7%	
	特になし・わからない	20	2.6%	

ご意見を記入した人数：774

意見数：961

特に多かった提案

1位：イベント開催

最も多かった回答は「イベント開催」(15.5%)でした。その中でも特に「小中学生が参加できるイベント」「親子で参加できるイベント」等、子どもを中心とした回答が多数でした。

子どもを中心とした回答では「教育」(7.1%)も上位です。主に「授業の一環として取り入れる」「体験学習」「学校で資料を配布し、子ども経由で親にも周知させる」等の意見がありました。

2位：交通広告

2番目に多かった回答は「交通広告」(14.5%)でした。その中でも特に「駅・バス停等でのポスター告知」「電車内の吊り広告」「電車内の液晶テレビ」等の回答が多数でした。

3位：広報よこはまの活用

3番目に多かった回答は「広報よこはま」(8.0%)でした。「広報よこはま」は設問3「横浜みどりアップ計画や横浜みどり税について何で知りましたか？」では最も多く(53.3%)、設問4「普段どのようにして横浜市からのお知らせ等を知りますか？」でも最も多い回答(72.8%)でした。広報の手段として注目度の高い媒体であると言えます。自由記述の意見では「広報よこはまを活用すべき」という意見のほか、「毎号に継続して掲載すべき」「一面でもっと目立つように」等、内容に踏み込んだ意見も多くありました。

広報手法についての分析

ポイント

1

「広報よこはま等の広報誌」、「市からの税金の通知等」が特に効果的。

計画やみどり税を知った経緯について、過半数の方が「広報よこはま等の広報誌」と回答しています。

また、計画やみどり税も知らない層も65.6%が「広報よこはま等の広報誌」で市の情報を得ていると答えています。

「広報よこはま等の広報誌」を活用した広報が最も効果的と判断できます。

加えて、「市からの税金の通知等」から計画やみどり税を知った割合も高く、こちらも効果が高い媒体といえます。

ポイント

2

「自治会・町内会の回覧」も広報効果が期待できる。

普段横浜市からのお知らせを知る手段として41.3%の方が「自治会・町内会の回覧」を挙げています。

計画や税を知っている割合を向上させる為には、多くの方が利用している「自治会・町内会の回覧」を引き続き活用していくことが有効だと思われます。

また、回覧を通じて計画やみどり税を知る方の割合を増やすには、さらに目を引く工夫が必要だと考えられます。

ポイント

3

「イベント」、「交通広告」の有効活用が必要。

効果的だと思われる広報の仕方では上位となったのは「イベント開催」15.5%、「交通広告」14.5%です。

今回の調査で、特に若い世代は「交通広告」から市の情報を得る傾向が強いことが分かりました。

また、広報に関する提案のなかではイベント等を通じて学生や親世代にPRすべき、という趣旨の意見が多くありました。

「イベント開催」「交通広告」をさらに活用することで、より幅広い層に周知できると推測できます。

ポイント

4

馴染みのある取組を通じたアプローチも有効。

今回の調査の結果、計画を知らないと答えた層にも、みどりアップ計画のいくつかの取組は知られていることが分かりました。

特に「市民の森等の保全・維持管理」、「地産地消」は計画を知らない方でも2割以上の方が知っています。

知っている割合を向上させるためには、計画を知らないと答えた層に対して馴染みのある事業の中で計画、税を認識して頂くことが有効だと思われます。